

# 同志社大学

## 2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 3月 26日提出

所 属	職 名	氏 名
経済	助教	西 圭介
研 究 題 目	世紀転換期のドイツにおける自転車の生産と普及	
研 究 成 果 の 概 要	<p>今年度の私の研究テーマは「世紀転換期のドイツにおける自転車の生産と普及」である。この研究テーマと関連して2011年12月17日の現代史研究会（於：法政大学）において「世紀転換期ドイツにおけるデュルコップ機械工場株式会社の経営戦略の変化」について口頭報告を行った。この報告ではデュルコップ機械工場株式会社に関する一次史料（監査役会の議事録、職員簿、労働者の原簿）をもとに当社の発展過程を具体的に明らかにすることができた。来年度はこの報告で頂いたコメントをもとに「ドイツ自転車工業の発展過程 ～デュルコップ機械工場株式会社の発展過程を事例に～」という論文を作成する予定である。</p> <p>今年の2月23日から3月22日までドイツのビーレフェルトに滞在し、史料収集を行うことができた。私はまずヴェストファーレン地方史研究所に勤めているディット博士と直接会い、私の研究について貴重なご助言（どのような施設にどのような史料があるか）を頂き、その助言をもとにドルトムント経済文書館において史料収集を行った。そこで世紀転換期のビーレフェルトのミシン、自転車、工作機械工業に属する諸企業が互いの熟練労働力を奪いあわないための協定を結んだことに関する文書を発見することができた。この協定は労働者の移動の自由を阻害しており、違法行為のものであった。この文書はディット博士もその存在を知らなかったものであり、ビーレフェルト歴史博物館の工場長によればドイツで全く知られてこなかった事実を証明した文書である。このように、価値の高い史料を個人研究費によって発見することができた。</p> <p>この文書を発見したことに加えて、今回のドイツ滞在ではビーレフェルト市立文書館でも史料収集を行っており、そこにおいても重要な史料収集を行うことができた。この協定に関する論文を来年度に作成する予定である。</p>	